

北九州市環境未来都市

まち

地域や都市の中で人が輝く、賑わい・安らぎ・活力のあるまち
～ 公害を乗り越えた経験と持続的に創造するイノベーションを活かして～



平成23年11月25日
北九州市

1 北九州市が環境未来都市を目指す理由



我が国が直面する課題に過去から取り組んできました。

1960年代



北九州市八幡西区黒崎の上空



北九州市洞海湾

現在



公害克服により
得られた資源(財産)

産学民官のコラボレーション

技術(イノベーション)・人材

アジア諸国とのネットワーク
(国際協力による)



高齢化の先行都市
= 近未来のアジアの姿

高齢化率 25.1%

【政令市1位】

7区中2区で 30%超

北九州市の最大の資源は「人(市民)」。
人(市民)が築いた「技術」、「実績」、「ネットワーク」をフルに活用します。

技術

ものづくりの技術

高効率モーター、高効率インバータ
節水型トイレ

環境関連の技術

石炭ガス化複合発電技術(EAGLE)
レアメタル等のリサイクル技術

実績

環境国際協力

国連自治体表彰
カンボジア王国「友好勲章」の受勲

他都市に先駆け実施

環境モデル都市
北九州エコタウン

ネットワーク

海外とのネットワーク

(財)北九州国際技術協力協会(KITA)
を通じた海外研修生
【138カ国、約6,200人】

東アジア経済交流推進機構
【日中韓3カ国・10都市】

環境関連ネットワーク

K I T A協力企業 **【約200社】**

北九州市自然環境保全
ネットワークの会 **【約2,000人】**

北九州ESD協議会 **【団体70,個人35】**

保健・医療・福祉・地域団体とのネットワーク

保健・医療・福祉・地域連絡推進協議会
【延べ198団体】

NPOシニアネット北九州 **【79人】**

小児医療先進都市づくり会議 **【12団体】**

3 北九州市環境未来都市のコンセプト



人(市民)が中心の「環境未来都市」を目指します。

目指す将来(2050年)の姿

環境

- ・ エネルギーを賢く使うまち
- ・ 豊かな自然を守り続けるまち
- ・ 資源を循環できるまち

超高齢化対応

- ・ 地域で健やかに暮らせるまち
- ・ 多世代が、知恵・元気などを分かちあうまち
- ・ 地域で子どもを見守り、育てるまち

復興支援
国際環境ビジネス

- ・ 災害に強く備えのあるまち
- ・ 多様な人材や技術が行き交うまち

バックカスティング

コンセプト

地域や都市(まち)の中で人が輝く、賑わい・安らぎ・活力のあるまち

～ 公害を乗り越えた経験と持続的に創造するイノベーションを活かして～

フォアカスティング

本市の強み

産学民官の
コラボレーション

技術(イノベーション)
・ 人材

アジア諸国とのネットワーク
(国際協力による)

高齢化社会
対応への経験

4 北九州市環境未来都市のコンセプト【目指す姿】



「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」をつくれます。

地域や都市(まち)の中で人が輝く、賑わい・安らぎ・活力のあるまち
～ 公害を乗り越えた経験と持続的に創造するイノベーションを活かして～

エネルギーを
大切に使う

ゴミが少ない
きれいな街で暮らせる

役割をもち元気に
楽しく過ごせる



身近な緑や水辺で
安らげる

安心して子どもを
育てられる

このまちで学び
このまちで働ける

5 北九州市環境未来都市推進にあたっての特徴



本市の環境未来都市の主な特徴は、「自立的な展開」、「総合特区制度の活用」、「被災地の復興支援」です。

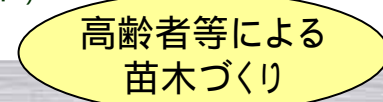
1. 北九州市環境未来都市の自立的な展開

世帯や世代を越えた「地域の力」、「地域のつながり」の活用

まちの森プロジェクト（環境首都100万本植樹・・・現在約25万本植樹済）



- ・子どもを健やかに育む
- ・環境教育



- ・高齢者の知恵の活用
- ・元気な高齢者の増加



- ・街なかの緑化
- ・多世代交流

2. 総合特区制度の活用

総合特区の制度も“エンジン”として活用し、環境未来都市の実現を加速

3. 東日本大震災被災地の復興支援

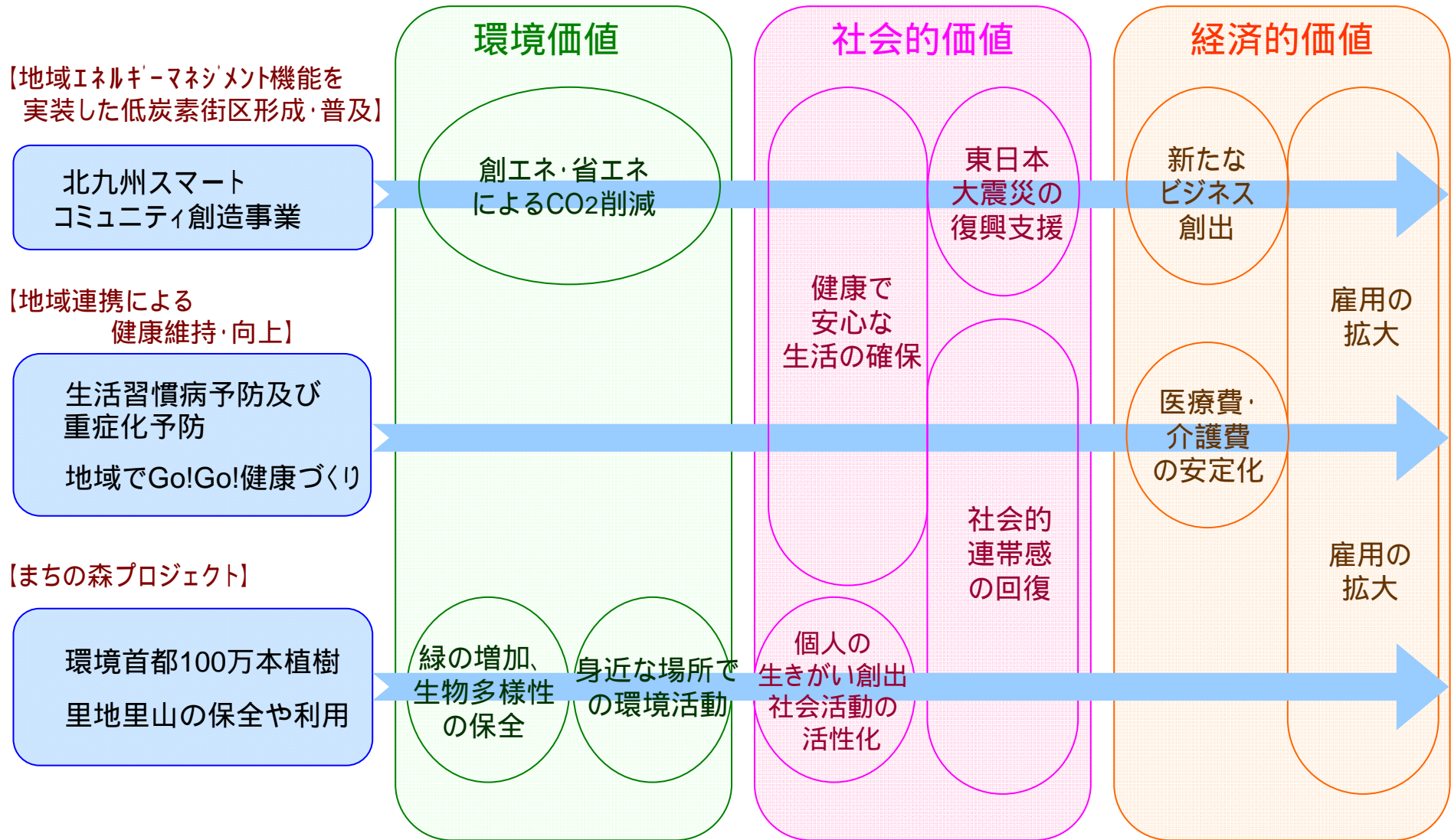
事業の成果を岩手県釜石市で活用することにより復興を支援

6 取組が創造する様々な価値



一つの取組が、様々な価値を創造し相乗効果を発揮します。

創造する様々な価値の例





低炭素・省エネルギー

(1) 環境にやさしいエネルギーをつくる

- ・ 風力発電、太陽光発電等
再生可能エネルギーの導入拡大
- ・ バイナリー発電、副生水素活用等
多様なエネルギーの展開

(2) エネルギーを賢くつかう

- ・ 地域節電所、スマートメーター等
エネルギーのマネジメント
成果を被災地の復興支援に活用

(3) 新エネルギーの開発に挑む

- ・ 潮流発電、色素増感型太陽電池 等

水・大気

(1) アジアの環境を守る

- ・ 国際協力によるアジア地域の環境改善
越境公害の解決

(2) アジアの環境を守る人をつくる

- ・ 環境専門人材の育成
- ・ 研修生の受入と専門家派遣

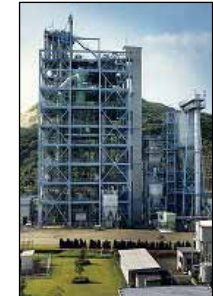
再生可能エネルギー等の導入と普及【低炭素・省エネルギー】
(多様な次世代エネルギーが揃った都市)



響灘太陽光発電所



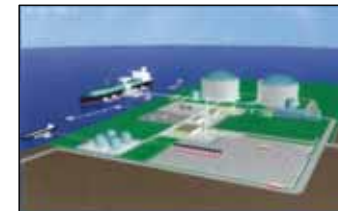
響灘風力発電所



石炭ガス化複合発電



水素ステーション



ひびきLNG基地



潮流発電

戦略的環境国際協力

【水・大気】

アジアでの環境国際協力の成果事例：中国（大連市）



1994年



現在

北九州市の国際協力
改善計画の策定
環境研修員受入

国連環境計画(UNEP)から
「グローバル500」を大連市
が受賞 (2001年)

自然環境・生物多様性

(1) みんなで自然をつくる

- ・環境首都 100万本植樹（現在 約25万本植樹済）

（その他緑化活動の例）

- 公園愛護会 （現在 1,157団体）
- 道路サポーター（現在 177団体）

(2) みんなで自然を守る

- ・里地里山の保全や利用
- ・生物多様性、希少種の保全活動
- ・日本最大級の響灘ビオトープ
 - ・・・広さ 61ha・H24 本格OPEN予定

(3) みんなで環境を学ぶ

- ・環境修学旅行 （H22 7校645名 H23 12校974名）
- ・環境首都検定 （H23 受験者 約2,000人見込）
- ・環境学習ツアー

3 R

(1) 資源リサイクルの拠点をつくる

- ・レアメタル等希少な資源の回収
- ・リチウムイオン電池、太陽光発電システム等新たなリサイクル技術等の開発

(2) 3 Rを積極的に進める

- ・市民の主体的、協調的な 3 R の実践

【自然環境・生物多様性】
豊かな自然を活用した環境人材育成
環境学習ツアー



自然環境
(平尾台)

北九州資源リサイクル拠点の形成 【3 R】





地域医療

(1) 身近な地域で健康をつくる

- ・保健・医療・福祉・地域が一体で病気を予防
- ・地域でGO! GO! 健康づくり
(H22 小学校区130中97校区で実施)

(2) 地域の医療資源を活かす

- ・救急医療体制、リハビリテーション体制の充実
- ・障害児の先進的リハビリテーションの充実

地域の介護・福祉

(1) 自ら進んで「健康」をつくる

- ・公園で健康づくり、多世代交流農園
- ・年長者研修大学校 (H22利用者 77,289人)
- ・生涯現役夢追塾 (H22卒塾生 231人)

(2) 地域で見守り、支えあう

- ・「いのちをつなぐネットワーク」事業
(H22 地域会合への参加 26,581人、相談673件)
- ・地域福祉ネットワーク北九州モデルの充実・強化
- ・障害者のしごとや住居サポート 等

地域連携による健康の維持・向上 地域でGo! Go! 健康づくり

【地域医療】



地域主体で、医師会等との連携で健康プログラムづくり

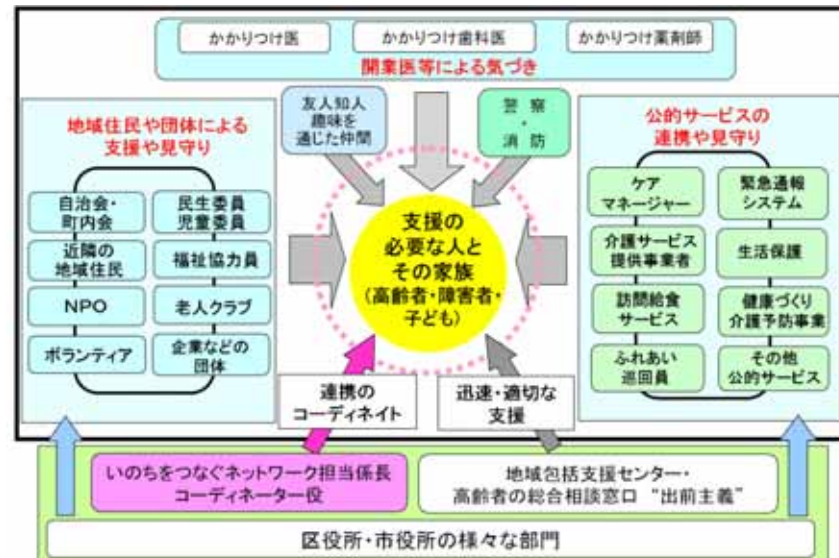
生涯を通じた主体的な健康づくり



楽しく参加&継続して実施

地域福祉ネットワークの充実・強化 いのちをつなぐネットワーク

【地域の介護・福祉】



子育て・教育

(1) 地域で子どもを育てる

- ・ スクールヘルパー (H22延べ活動者 101,766人)
- ・ 経済界と連携した学校教育の充実
(約150社が参加 H23.11現在)
- ・ 子育てサポーター、育児サークル 等

(2) 安心して子育てできるしくみをつくる

- ・ 子育てふれあい交流プラザ (H22利用者 415,465人)
- ・ 子どもの館 (H22利用者 662,969人)
- ・ 放課後児童ヘルパー、
放課後ジュニアリーダープログラム
- ・ 全国に先駆けた小児医療体制の充実 等

(3) 子どもの「環境力」を育む

- 北九州環境みらい学習システム
- 環境学習ツアー
- 環境リーダーみらい塾
- 学校・地域でのESD活動 等
- 環境教育の推進
- 環境未来科の実施、
- ユネスコスクールの推進 等



【子育て・教育】

地域との絆を結び、世代をつなぐ教育の推進

子どもの教育を支えるスクールヘルパー日本一

地域と連携した学校運営



大学との連携



高齢者との連携

経済界と連携した学校教育の充実

企業人による小学校応援団



2011.10.27発足

市内の企業や
経済団体など
約150社で構成
(H23.11現在)

4つのプロジェクト
親学推進
社会体験学習
講師派遣
環境づくり



復興支援とリスクの軽減

(1) 被災地の復興を支援する

- ・スマートコミュニティ創造事業の成果を復興に役立てる（岩手県釜石市）
- ・地域が主体となった被災者の支援（「絆」プロジェクト北九州 等）

(2) 災害に備える

- ・ディザスタリカバリ拠点の形成

震災被災地復興支援

【震災復興・リスク軽減】



スマートコミュニティの成果を釜石市に展開

国際環境ビジネス

(1) アジアで稼ぐ

- ・アジア低炭素化センターの活用
環境関連技術、水ビジネス等の展開
- ・海外とのネットワークを活用

(2) 人と技術で海外とつながる

- ・海外人材の育成
- ・国内外の多様な人材、
技術の交流拡大

アジア低炭素化センター

【国際環境ビジネス】

スラバヤ市

北京環境交易所



エネルギー
ビジネス

リサイクル
ビジネス

アジア
へ展開

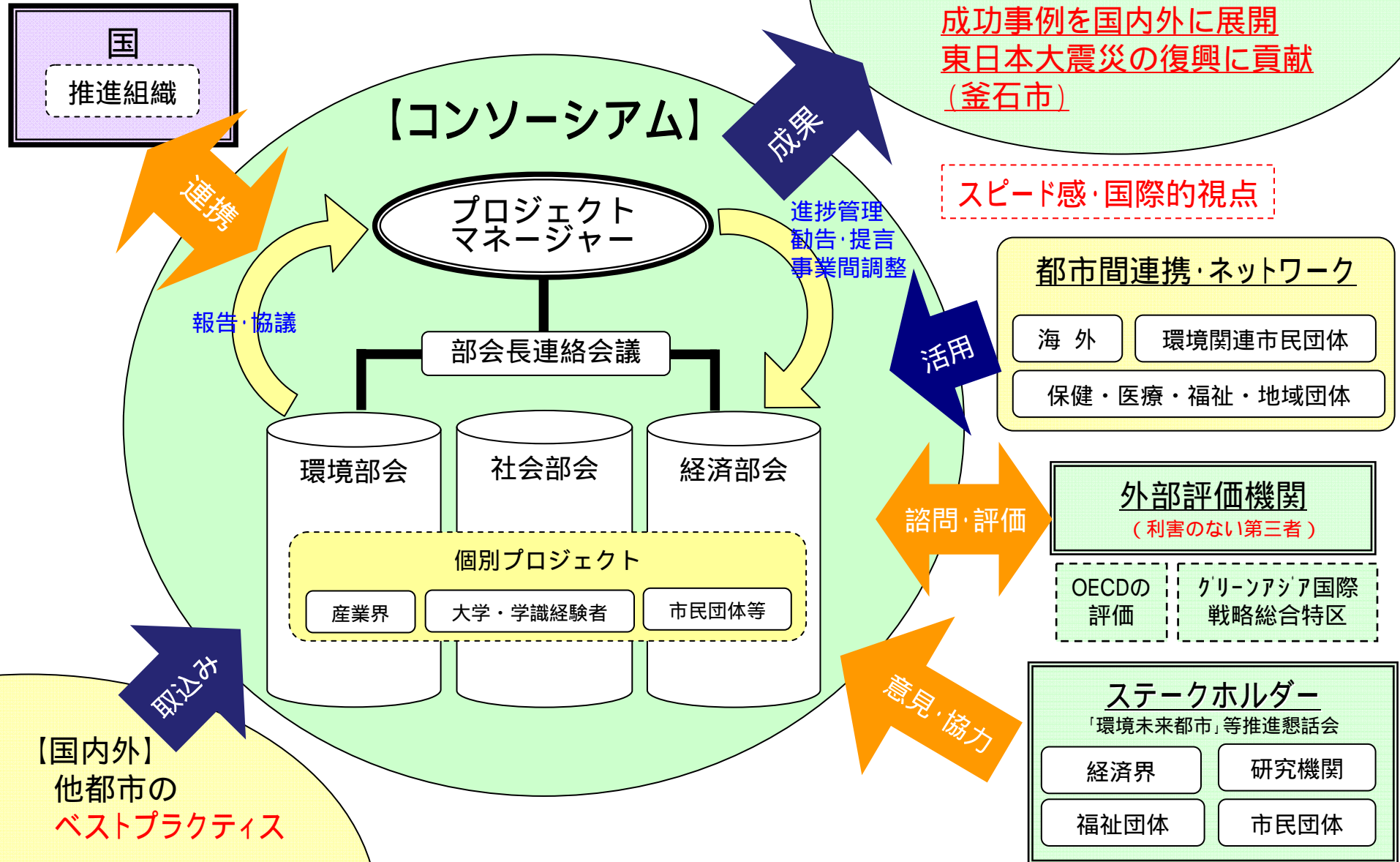
水
ビジネス

環境負荷
低減
ビジネス

12 強力な推進体制、プロジェクトマネジメント



スピード感と国際的視点を持ち、取組に柔軟に対応できる推進体制で、環境未来都市を実現します。



13 北九州市の海外からの評価



北九州市の取組の実績は、世界的に評価され、今後も期待されています。

中国(習近平・国家副主席)

北九州市は環境生態保護と先進的技術の発展において**豊富な経験**を有している。中国の現実に当てはめながら、**お手本として真剣に学ぶに値する**ものである。

(H21年12月)

経済協力開発機構(OECD)

北九州市の政策を**世界レベルで発信**できることは**非常に意味がある**。

(H23年7月)

中国・大連市(張軍副市長)

北九州市には環境、技術、文化などの面で**大きく貢献**していただいた。**両市は一つの家族**だ。

(H23年4月)

ベトナム・ハイフォン市
(ダン・ダック・ヒエプ人民委員会筆頭副委員長)

北九州市は水道や環境の**知識、経験が豊富**都市インフラ整備に向け、両市の**関係をさらに強化**したい。

(H23年10月)

カンボジア
(ポーク・ソバンリッツ鉦工業エネルギー省次官)

私たちは、北九州市の**多大な支援**に対し恩を忘れることはない。**「心の友」**である。

最高位の友好勲章(大十字章)を授与

(H23年10月)

ケニア
(故ワンガリ・マータイ元副環境相、
ノーベル平和賞受賞者)

環境のことは、**北九州市に聞きなさい**。

(H18年2月)

～ 北九州市・一世紀にわたる挑戦 ～



北九州市は、市民とともに
環境未来都市を

つくります！

つくれます！

つなぎます！